

## 2月10日 全校朝会「梅の花が咲きました」

まだまだ寒い日が続きますが、玄関の梅の木に花が咲きました。みなさん、気づきましたか。

梅は春に開花しますが、実は前年の夏から蕾が作られています。1年生が育てたアサガオは、蕾ができたらすぐに花が咲きましたが、どうして、夏に蕾を作るのに、なぜ秋に咲かないのか？」ということが不思議になります。

梅は、夏に蕾を作りますが、秋になり、夜が長くなると「越冬芽・冬を越す芽」を作って休眠状態になります。動物の冬眠に近いですね。その休眠状態が、冬の寒さで眠りから目を覚まし、温かくなると花を咲かせます。ということは、まだまだ寒い日々が続きますが、梅の木は、暖かくなっているのを感じているのですね。

さて、梅は春の季語です。575で読まれる詩である俳句を作るときに、季語という季節の言葉を入れる決まりになっています。梅が咲く今は、2月3日が立春でしたので、もう春ということになります。

でも「探梅」という言葉もあります。「梅の木から咲いている花を探す」という意味で、これは冬の終わりの季語となっています。玄関の梅も、少ししか咲いていません。幼稚園の玄関の梅の木から花を探したのですが、まだ咲いていません。梅の花を探している今は、暦の上では春ですが、まだまだ、冬の終わりの季節であるとも言えそうです。

とはいえ、天気予報では、今週は暖かくなると言われています。梅の花のように、自然の中から、あたたかい春を感じるものを探してみたいかがでしょうか。



### 「越冬芽」「冬芽」



冬の寒さで眠りから目を覚まし、暖かくなると花を咲かせます。

季語 梅 咲 け り

下りしバス

やりすこすとき

久保田万太郎

俳句

5 7 5

### 「梅」 春の季語

「探梅」 梅の木の枝から梅の花を探すこと。

### 冬の季語

